

戦後詩歌俳句 人名事典

日外アソシエーツ 編 A5・650頁 定価(本体9,250円+税) ISBN978-4-8169-2567-2 2015年10月刊行

現代詩壇・歌壇・俳壇の登場人物を
知ることができる!

- 戦後活躍した詩人(詩・俳句・短歌・川柳・漢詩など)4,501人(物故者)を通覧できる人名事典です。
- 各人物は五十音順に排列、生没年月日・出身地・学歴・経歴・受賞歴などの詳細なプロフィールを記載しました。
- 便利な「没年順人名一覧」、「都道府県別索引」付き。町おこしや年忌の作成・著作権調査に役立ちます。

■収録人物例■

詩 栗原貞子(原爆詩人・「生ましめんかな」)／柴田トヨ(100歳の詩人・「くじけないで」)／伊達得夫(編集者・書肆ユリイカ)／田村隆一(「荒地」同人・「四千の日と夜」)／やなせたかし(「詩とメルヘン」編集長・「手のひらを太陽に」)

短歌 宇田木瓜庵(=宇田道隆、海洋学者。歌会始召人)／扇畑忠雄(日本現代詩歌文学館初代館長)／川田順(「老いらくの恋」)／河野裕子(女流の第一人者・歌集「母系」)／斎藤茂吉(戦後に文化勲章を受章)

俳句 飯田龍太(「雲母」主宰・飯田蛇笏の四男)／小沢変哲(=小沢昭一、俳優。東京やなぎ句会)／住宅顕信(自由律俳句)／高柳重信(「俳句研究」編集長・多行形式)／村越化石(盲目のハンセン病俳人)

川柳 今川乱魚(全日本川柳協会理事長)／岸本水府(番傘川柳社会長)／坂本一胡(=坂本朝一、NHK会長)／斧田千晴(=山内令南、小説家)／曾我六郎(川柳研究者、現代川柳研究会代表) ...

内容見本

中村 正子 なかむら・まさこ 詩人

昭和3年(1928年)1月20日～昭和35年(1960年)3月9日 〔滋賀県伊香郡高時村(長浜市木之本町)〕〔滋賀師範女子部本科〔昭和23年〕卒〕〔昭和23年20歳の時から滋賀県内で小学校の教壇に立つが、22歳の時に肺結核とわかり、26年国立療養所紫香楽園に入園。31年療養所の仲間たちと同人誌「いしころ」を作り、詩の創作活動に取り組む。35年6回目の手術を受けた後に32歳で亡くなり、同年遺稿詩集「胸の底の川原で」が編まれた。平成26年教え子らにより「中村正子の詩と人生」が刊行され、注目を集める。

藤波 孝堂 ふじなみ・こうどう 俳人

昭和7年(1932年)12月3日～平成19年(2007年)10月28日 〔三重県伊勢市〕〔本名=藤波孝生(ふじなみ・たかお)〕〔早稲田大学商学部〔昭和30年〕卒〕〔昭和42年衆院議員に当選し、以来連続9選。54年大平内閣の労相として初入閣。中曽根康弘の片腕として活躍し、中曽根内閣発足時には官房副長官、第二次内閣、同改造内閣では官房長官を務めた。渡辺美智雄とともに中曽根派の後継候補と目されるなど、次代の自民党を担うニューリーダーの一人であったが、平成元年リクルート事件で受託収賄罪により在宅起訴されて失脚。党を離れ、2年の衆院選では無所属で立候補。5年落選したが、8年自民党公認で返り咲き。12年には無所属で当選し、通算11期務めた。15年政界を引退。俳句をよくし、孝堂の号を持つ文人政治家としても知られ、国文学研究資料館、俳句文学館の建設にも貢献した。句集「神路山」「伊勢湾」。他に「議事堂の朝」などの著書がある。

2016.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

戦後詩歌俳句人名事典

定価(本体9,250円+税) ISBN978-4-8169-2567-2

冊



9784816925672